

【単年度事業評価様式】

栄区地域子育て支援拠点事業
平成31年・令和元年度重点目標評価結果・次年度重点目標

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日(10年度目/10か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

平成31年令和元年度重点目標の評価

平成31年度重点目標①	妊娠中の方とその家族の利用を増やし、妊娠中から出産後まで切れ目ない支援につながるよう区と拠点が連携して取組を行います。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①区主催の両親教室で拠点周知を行い、見学する機会を取り入れ、参加者が拠点につながるよう働きかける。 ②妊娠中の方とその家族が参加できるプログラムを行い、拠点への来館を促し、産後も継続して利用につながる工夫をする。 ③出産後、実際に継続利用につながっているか把握していく。
取組の成果	<ol style="list-style-type: none"> ①両親教室(3回 27組 53名 ※3月は感染症対策の為中止)で拠点の周知を行い、講座終了後に見学ツアーとして拠点に案内した。拠点を見学し、親子の様子を実際に見ることで拠点に対しての安心感が生まれ、出産前からの登録にも繋がった。また、先輩ママ・パパ達から話を聞くことで育児不安の軽減に繋がると共に出産後の生活のイメージを膨らませることができた。 ②「マタニティさん集まれ」や「フリーマーケット&先輩ママとの交流」を実施し、拠点の周知や子育て中のママとの交流を行い、拠点では身近な地域の親子と気軽に交流できる場と知り、出産後も安心して過ごせる居場所として、利用に繋がった。 ③プレママファイルを作成し、登録時の様子を書き込み、出産後の来館に向けて、継続的に支援を行うことができた。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の方向けのプログラムへの参加者を増やすため、周知の方法を再検討し、区民に広く周知する工夫をする。 ・栄区は産院が少ないため、近隣区の総合病院やクリニックへの拠点パンフレット配置に向け、区と調整を進める。 ・出産後、継続利用に繋がっているかどうかの把握が難しかった為、プレママパパ登録方法の工夫を次年度の課題とする。

平成31年度 重点目標②	拠点の機能を活かし、栄区の子育て支援力の向上に努めます。
取組内容	<p>①地域のサロンや親と子のつどいの広場、各関係機関団体の活動の場に出向き、出張広場や子育て支援講座等を実施し、区内の子育て支援力の向上に努める。</p> <p>②地域ケアプラザ、地域福祉保健計画と連携し、地域の子育て支援を共に考える。</p> <p>③セーフコミュニティの取組や地域の子育て支援を共に考える。地域福祉保健計画、栄区児童虐待防止連絡会等の各種会議で今の子育ての現状や課題を共有して子育てしやすい街づくりを推進する。</p> <p>④子育て支援団体連絡会を開催し、区内の関係機関や団体同士の連携を推進し、また学びの機会を提供する。</p>
取組の成果	<p>①区内の各関係機関団体の支援の場に出向き、連携を深めたことで、各地区のニーズに合わせた講座や研修を開催し、遊びや子育て支援方法を実践することにより、子育て支援力の向上に努めた。</p> <p>【出張ひろば】</p> <p>a. 横浜市公田保育園「どろんこ遊び」1回 14組28名</p> <p>b. 飯島コミュニティ「親子のふれあい遊び&記念手形」1回 11組23名</p> <p>c. おやこの駅ひろば「おやこで楽しく遊ぼう」1回 12組26名</p> <p>d. おやこのひろば ぴよんちゃんとあそぼう「夏祭りごっこ」1回 11組23名</p> <p>e. おやこのひろば ぴよんちゃんとあそぼう「おはなして遊ぼう」1回 12組25名</p> <p>f. 駅ひろば「おやこで楽しく遊ぼうinリエゾン」1回 13組27名</p> <p>g. 「鍛冶ヶ谷っ子あつまれ」1回 4組9名</p> <p>h. 千秀センター「のーびのびクリスマス会」1回 10組22名</p> <p>i. 飯島コミュニティ「バルーンあそびIN飯島コミュニティ」1回 12組25名</p> <p>j. ダイヤモンドキッズ「ダウン症の子集まれ」2回 12組27名</p> <p>【地域ケアプラザ共催事業】</p> <p>a. 豊田地域ケアプラザ「ぽっかぽかで遊ぼう」2回 34組71名</p> <p>b. 桂台地域ケアプラザ「おもちゃ文庫ほこで遊ぼう」1回 18組38名</p> <p>c. 小菅ヶ谷地域ケアプラザ「親子ですぐに役立つ防災の知恵」8/30 講師都合により中止</p> <p>d. 笠間地域ケアプラザ「押田先生とあそぼう」1回 15組31名</p> <p>e. 野七里地域ケアプラザ「親子ヨガ」1回 14組28名</p> <p>f. 中野地域ケアプラザ「みんなであそぼう&手形製作」感染症対策の為中止</p> <p>②③セーフコミュニティの取組や地域福祉計画、地域ケアプラザと連携し、子育ての現状や課題を共有することで、子育てしやすい街づくりを推進した。</p> <p>a. 子育て支援団体連絡会年間5回（うち分科会3回含む）</p> <p>b. 栄区セーフコミュニティ児童虐待防止分科会 さかえっ子の笑顔ひろげ隊</p> <p>c. 栄区セーフコミュニティこども安全対策分科会 2回</p> <p>d. さかえセーフコミュニティフォーラム 1回</p> <p>e. 虐待防止連絡会 1回</p> <p>f. 栄区地域福祉保健計画策定・推進会議 2回</p> <p>g. 子育て支援者との連携（定例会への参加→横浜子育てパートナー）</p> <p>h. 栄区自立支援協議会子ども部会 2回</p> <p>i. 豊田こどもネットワーク委員会（月1回）</p> <p>④子育て支援団体連絡会を開催し、各関係機関や団体同士の連携を推進し、支援者向け研修を開催したことにより、栄区の子育て支援力の向上を図った。子育て支援団体連絡会以外でも、子育て支援向上の為に研修に参加した。</p> <p>a. 子育て支援団体連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会1「発達気になる子への関わりと保護者の支援について」 13団体33名 講師：河西 幸子氏（発達障害親の会 なのはな会） ・分科会2「子どもの遊び」 13団体32名 講師：公田保育園 重石園長 ・分科会3「学校に行かない選択をする時」～不登校傾向にある子どもについて考える～ 9団体12名講師：児玉政徳氏 <p>b. 個人情報守秘義務</p> <p>c. 子ども家庭支援に必要なアセスメント</p> <p>d. これからの地域の子育て支援をReデザインする</p> <p>e. 横浜市の虐待の現状について</p> <p>f. 子育て支援員研修 3回 専門研修 2回</p> <p>g. 児童虐待から子どもを守る</p>
取組の課題	<p>・各関係機関団体と、これまで積み重ねてきた連携を更に深め、次年度も子育てしやすい街づくりの促進に努める。</p>

令和2年度重点目標の評価

令和2年度 重点目標①	妊娠期から出産後まで切れ目ない支援につながるよう区と拠点が連携して取組を行います
取組内容	<p>①区と協力し、妊娠中の方とその家族が参加できるプログラムを行い、拠点への来館を促し、産後も継続して利用につながる工夫をする。</p> <p>②子育て世代包括支援センターの本格稼働により、区と連携して、妊娠中の相談に応えることで安心して出産できるよう取組を行う。</p>
令和2年度 重点目標②	拠点の機能を活かし、子育て支援機関団体と連携を深め、栄区の子育て支援力の向上をめざします
取組内容	<p>①地域のサロンや親と子のつどいの広場、区民利用施設等区民ニーズを把握する施設と共催し、課題に沿った支援を行う。</p> <p>②子育て支援団体連絡会を開催し、その中で今の子育ての現状を一緒に確認することで連携促進とスキルアップを図る。</p> <p>③セーフコミュニティの取組や地域福祉保健計画、栄区児童虐待防止連絡会等の各種会議で今の子育ての現状や課題を共有して、養育者が安全・安心を感じる街づくりをめざす。</p>